

第12回「戦争と医の倫理」の検証を進める会 世話人会報告

- ◇日時 2011年7月10日(日) 13時～17時
◇場所 全国保険医団体連合会 6階会議室
◇参加者 赤羽根巖、西山勝夫各代表世話人、苮昭三、小俣和一郎、小島荘明、肥田泰、光石忠敬、山口研一郎、吉中丈志各常任世話人、住江憲勇事務局長、岡田朝志、刈田啓史郎、近藤昭二、松村高夫、村林彰各世話人
(事務局) 相場康文、木村徳秀、杉浦秀明、原文夫、室井正、小林耕治各氏

◇議長 西山代表世話人

◇報告及び協議事項

1. 世話人会体制について

議長より下記の紹介があり、赤羽根代表世話人、近藤世話人より挨拶が行われた。

*塩安佳樹代表世話人が辞任、後任に赤羽根巖代表世話人代行が就任。

*近藤昭二世話人が新に就任。

2. 第10回、第11回各世話人会報告の確認について

第10回世話人会報告(11.2.13)、及び、第11回世話人会報告(11.2.27)について、事務局より報告があり、了承。

3. パネル案等に関する内容の検討について

松村世話人より、事前に送付した「パネル集(案)」に対し、主に第1部と第4部を中心に各パネル案の修正意見が寄せられた(詳細は事前資料参照)。

会議では、松村世話人より修正の要点を説明していただき、意見交換を行った。その結果、基本的には、松村世話人の提案をもとに修正することとし、次回の世話人会に向け下記のように対応することとした。また、会議欠席の末永世話人からは、ご自身が担当されたパネル案への修正意見については、基本的に了解する旨の文書が提出された。

<今後の対応の要点>

- (1) 会議で出された第1部～第4部の意見をもとに、杉浦事務局員(今後の作業補助として師岡さんにも協力を依頼する)がパネル案を整理し、各パネル起案者(苮常任世話人、刈田、末永各世話人)と吉中常任世話人、松村世話人に送付し再整理する。
- (2) 前記の整理案を次回世話人会の事前資料として各世話人に送付する。
- (3) 次回(10.2)世話人会当日の各班会議で、A班としての検討を行う。
- (4) A班会議の検討結果を全体会議に報告、提案していただき、討論の上確認する。
- (5) 第5部(C班)については、光石常任世話人より、パネル案の内容(用語を含む)が一般の方にわかりにくいので修正が必要との意見があり、次回世話人会に向けてC班として検討を行い、A班同様に次回世話人会で検討する。

4. 今後のパネル展示や国際シンポなどの企画について

事務局より、「今回の世話人会に先立ち、6月4日(土)に「代表世話人・事務局会議」を開催し、今後のパネル展示や国際シンポなどの企画の取り扱いの方向について検討した。その要点を国際シンポ担当の小俣常任世話人とも意見交換の上、世話人会でよく議論したうえで具体化する」こととした旨の経過報告が行われた。

その後、小俣常任世話人から今後の企画を考える上で、年内までにウェブ（web）でのパネルの公開、関西方面など東京以外でのシンポ開催の検討が問題提起され、討論の結果、下記の内容で今後の具体化を行うこととした。

<今後の対応の要点>

- (1) パネル案については、年末までに公開できるよう、インターネット上でのウェブ（web）展示、及び、会場でのパネル展示の両方で対応できるよう検討する。
また、パネルを出版するかどうかについては、次回以降の世話人会で検討する。
- (2) 会場でのパネル展示と国際シンポの開催については、開催する方向で、開催の時期、場所などの可能性を検討する。
現在考えられる案としては、
 - ①原発事故に近い東京をできるだけ避け、次回の日本医学会総会の開催地でもある京都市での開催を検討する。
 - ②IPPNW 広島大会（12.8.24～26：広島国際会議場）の時期にあわせてドイツのバスティアン氏が来日されるようであれば、その前後に開催を検討する。
 - ③来年の保団連医療研究集会（12.10.13～14：東京）にあわせて、開催を検討する。
- (3) 前記の検討に関連し、次回世話人会で、国際シンポの開催案が決まれば、日野原重明先生に特別講演を再度要請する。もし日程的にご無理な場合は、メッセージなどをお願いし、ウェブ（web）や国際シンポで紹介する。
- (4) バスティアン氏についても同様に、来日の再要請とあわせて、いただいた講演原稿について、日本語訳を含め、ウェブ（web）での公開についても了解を求める。

<主な意見>

- * 今回の福島原発事故による放射能汚染の被害は、収束の目処も立たず深刻だ。日本では食品に対する放射能汚染の安全基準もなく、いまだ政府の基準はドイツの100倍などだ。ドイツをはじめヨーロッパでは、日本の原発事故の深刻さを知っている。
こうした中で、安易にまた東京で開催するとはいえないのではないか。日野原先生の特別講演を含め、開催地を関西方面にすることや、開催時期など、企画を基本から検討しなおすべきではないか。パネルなどは、ウェブ（web）で公開することも検討してはどうか。
- * ドイツの友人は同様の感想で、国外避難の催促を受けた。日野原先生には、東京での医学会総会とも関連して、当会のバックアップをお願いしたが、百歳を迎えられ多忙とのことで、日程が困難なときは、白紙から考えてもやむをえないのではないか。
- * 日野原先生は、京大のとき石井四郎の講演で731部隊のことも直接聞いており、その体験を含め一貫して戦争を否定するなど、日本の医学界への影響は大きい。当会の顧問としても可能な限り講演を依頼してほしい。
- * 日野原先生は、私たちや医学生が未来に向けて何を汲み取るべきか、医の倫理や平和な社会のために補強していただける先生だ。まとめて講演を伺う機会は少ないと思うので、特別講演は大きな意味がある。
- * パネルのウェブ（web）での公開も一つの情報発信だが、一方通行で見た人の反応がわからず交流ができない。この点では、会場でのパネル展示や講演・シンポは、双方向でのデスクッション・交流もできる。原発事故の影響で開催のリスクも大きいですが、両方の良さを活かせるよう、国際シンポの開催を含め実現に向けて努力すべきだと思う。
- * ネットのウェブ（web）で掲載の場合、東日本大震災・原発事故の影響で企画中止となった理由を明らかにし、バスティアン氏の日本語での原稿や、日野原先生の講演が難しい場合のメッセージを、当事者の了解を得た上で公開してはどうか。

*国際シンポの開催を検討する場合、現段階で考えられる開催地や時期では、①次期医学会総会の開催地でもある京都での開催、②12年8月開催のIPPNW広島大会の前後で広島での開催、③12年10月、東京で開催の保団連医療研究集会にあわせた開催、の3案が考えられる。次回世話人会で開催の可能性について検討し具体化してはどうか。

5. 731部隊資料の公開要請などの今後の活動について

事務局より、「731部隊に関する日本政府への資料公開要請について、この間、パネル展示と国際シンポの企画準備との関係もあり活動がほとんどできなかった。この度、「NPO法人731部隊・細菌戦資料センター共同代表」近藤昭二氏の世話人就任を機会に、今後の活動を促進したい」旨の報告があり、議論が行われた。

冒頭、近藤世話人より、会議資料に提出していただいた「米軍接收資料の返還と七三一・細菌戦資料の行方(上)」「戦争責任研究」(11年夏季号)をもとに、731部隊関連資料の調査の経過等が紹介された。

さらに、松村世話人より『731細菌戦部隊の実態を明らかにする会』として、防衛省当局と4回の交渉を行ってきた。3回目までは『ない』との姿勢だったが、いくつかの事実をもとに追及するなかで、4回目からは、『戻ったかもしれないが、ここにはない』と、対応を少し変えてきた』との経過報告があり、引き続き交渉していく必要性が指摘された。

以上の活動報告等もふまえ、今後とも関係団体が共同して追及していくことを確認した。

6. 第29回日本医学会総会(2015:京都)に向けた活動方向について

事務局より、「日経メディカルオンライン」の情報では、次回の第29回日本医学会総会は、①開催年月日 2015.04.11(土)ー13(月) ②代表者 井村裕夫(京都大学名誉教授) ③会場その他は未定、との報告。及び、次回の日本医学会総会の企画に反映させるためにも、関連する日本医史学会等との意見交流の機会について早めの検討が必要との報告があった。

討論では、山口常任世話人より、「1991年に京都で開催された第23回日本医学会総会では、当時、医学会総会の事務局長を井村教授がされ、要望の結果、『患者と医療者の公開討論会』を医学会総会の後援のもとで開催したことがある」との紹介があり、次回の医学会総会も念頭においた対応については、今後検討することとした。

7. その他

(1) 次回世話人会

*日時 2011年10月2日(日) 午前11時～午後1時 各班会議。
午後1時30分～5時 全体会議。

*場所 保団連会議室

(2) 次々回の世話人会予定日

*日時 2011年11月23日(水・祝日)

*場所 保団連会議室

以上